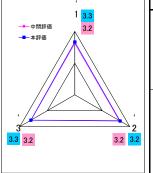
学校名	新座市立大和田小学校
実施日	令和 4年 12月 3日

No.	   質問項目		評価結果を踏まえた具体的な改善策	中間評価ポイント	評価	A/B/C/D
	質問項目		計画和米で始まんに具体的な以普束	本評価ポイント	評価	A/B/C/D
1	学校づくりに取り組んで いる。	中間評価	・帰りの会等を活用しながら、頑張った児童を児童同士が認め合ったり、教師が誉めたりする機会を充実させる。 ・失敗してもいいので、できる限り児童に計画を立てさせ、取り組ませてみる。最後まできちんと見届け、できたことは認めてあげる。	3.24		В
		本評価	・道徳コーナーやありがとうコーナー等の設置により、教室掲示物を充実させる。 ・職員が作成する自己評価シートの目標欄に、できる限り有用感向上に関する具体的な目標(数値)を記載し各自取り組む。 ・個人面談や懇談会、連絡帳を使い、保護者と学校とで児童の良さを共有し、学校・家庭の両輪で自己有用感の向上をさせる。	3.33		В
	私は、ゴール(身に付けさせたい力)を明確にし、主体的・協働的に課題解決を図る授業づくりに取り組んでいる。	中間評価	・授業中に児童の学習状況を的確に把握し、何をねらいとすべきか目的や課題を精査してから提示する。 ・ロイロノートやジャムボードなどのソフトを使って、対面だけでなく、ICTを活用しながら協働的に解決する場面を適宜授業に組み込む。	3.24		В
		本評価	・全教科で「めあて」・「評価」・「ゴール」の一体化を意識し、授業を構成する。また、自分の言葉で授業の「ふりかえり」を書かせる。 ・課題を精査し児童に提示した後、タブレットを積極的に活用し、意見を交流させ、課題解決に取り組ませる。	3.39		В
3	私は、児童の『自分から』 を大事にした主体的・協 働的な教育活動に取り組 んでいる。	中間評価	・学年ごとに具体的な「自分から」のイメージ像を話し合って、学年で共有化する。(既存の掲示物を見直し、時流にそったものに変える) ・教師側から具体的な声がけをすることを減らし、ことあるごとに児童に気づかせるような「きっかけ」を与える。	3.18		В
		本評価	・コロナ対策を継続しながら、運動会や縦割り活動、学級活動など、児童が主体的に活動できる場を、教師ができる限り設定していく。 ・児童が自ら気づき、行動するまで待つ姿勢を持つ。そして、自分から行動できたら具体的に誉める。	3.25		В
	,		<b>総</b> 評	-		
→ 中間評価 2.2						1 12 104510



- | T | MARKE SINCE IN LEIN LOWING IN LINGUIST IN LOWING IN LOWING IN LINGUIST IN LOWING IN LINGUIST IN LINGUIST IN LINGUIST IN LINGUIST IN LINGUI 由♥・感染症対策を強く意識しての活動となり、授業中に対面の話合いなど制限されることが多い。そのような状況下においても、ロイロノートやジャムボードなど┃
  - ・大規模校で職員も多く、足並みを揃えて生徒指導を行っていくことの難しさがある。職員同士のコミュニケーションを密にとり、連絡を取り合いつつ一丸と なって生徒指導を進めていく。
  - ・5年生では西武ライオンズOBによる野球教室、6年生では新座柳瀬高校によるサッカー教室、4年生では十文字学園女子大学生を招いての歌唱交流等、 コロナ禍による制約を受けながらも、管理職を中心に職員が一丸となってアイディアを出し合い、児童の主体性や協働性の育成、自己有用感の向上に努め
- 本評価 ・児童は1人1台配付されたタブレットを使いこなし、対面だけでなく画面上で意見を交流したり、他の子の提出作品を見たり、スライドを作成したりして、主体 的・協働的な学びを充実させながら理解を深めることができた。また、自習時間や授業中に一人ひとり自分のペースに合わせてタブレットのアプリケーション を使って、既習内容の振り返りに取り組み、基本的な学習内容の定着に努めた。